

事業名 ほりない 堀内漁港漁港環境整備事業

景観の保持を図るため、自然の岩礁を残し、天然石を用いて傾斜護岸として、親水性を持たせ、潤いのある公園整備を図った事業

受賞機関 岩手県久慈地方振興局水産部漁港課
事業実施期間 平成4年6月～平成10年3月31日
事業費 490百万円



天然石張り護岸

技術等の特徴と評価

漁業者のリフレッシュの場や、地域住民・都市部住民との交流の場を提供するため、施工にあたり、周辺の景観との調和、海とのふれあいの場を確保するため、天然石張りの緩傾斜護岸としたり、県産の間伐材を用いるなど各所にきめ細かい工夫をしている点が評価される。

事業の概要と効果

本事業は、前浜が狭少し、かつ背後は急峻な地形に、漁港・漁村が立地しているなかで、景観の保持・美化を図り、人々の潤いのある生活環境に応えるべく、漁港環境事業による海浜公園の立地が望まれてきたところである。

立地にあたり、地域住民の要望もさることながら、都市地域住民との交流の場・潤いの場として多面的に活用されることを念頭において、海を眺望できる海浜公園を造成することとした。

併せて県産の間伐材を利用した木柵を配置し、公園全



海浜公園

体をソフトなイメージに醸し出すことにした。また、公園内の遊歩道には、コストダウンを考慮して、輸入資材の一つである鉄平石をランダムに配置した。海岸には、岩礁が点在しているため、天然石で石張りの護岸（緩傾斜護岸）とし、木柵とのコントラストを図り、自然環境と違和感のない公園とした。

効果として、

- ・ 漁業活動のいこいの場として、漁業者のリフレッシュに役立っている。
- ・ 地域住民・都市部住民との交流の場として利用されるほか、各種の野外イベントの場として提供できる。
- ・ 県産材の有効利用・輸入資材利用によるコストダウンを図った。



全景